

## 「電子図書館レポート 2010」の発行にあたって

奈良先端科学技術大学院大学電子図書館は、本学が関係する科学技術の先端的かつ独創的な研究・教育、そして社会連携をサポートする学術情報を迅速かつ正確に提供する機関です。ここ数年、学術情報の多種多様化及び情報利用形態の多様化・高度化が進んできました。情報は文字情報から表・図・画像・ビデオなどのマルチメディア情報になり、利用形態も単なる検索から加工・編集などの付加価値などを含んだ高度・複雑なものになっています。このような変化に対応できるように、常に新しい電子図書館の在り方を求めて、関連システムの整備・充実をはかり、最先端技術を駆使しながら、情報が増幅されていく、知の創造・醸成の場を確立しています。

本レポートは、これからの電子図書館機能の実現に向けて、本館研究開発室を中心とした活動（2009年度）をまとめたものです。本館はこれまで、学内知的生産物の電子化・24時間運用・リアルタイムかつ高度な情報利用・授業データのアーカイブ化などを、順次実現してきました。最先端研究者・技術者が集結する本学において、新しい知識・知恵を集約・体系化し、世界へ向けた情報発信基地となるべく、次世代電子図書館の具体化とその社会展開（教育・普及）を推進しています。これらの活動はわが国の電子図書館システムの継続的發展に貢献することを期待しています。

これらの活動を全学情報インフラとより有機的に統合するため、本年（2010年）7月に、情報科学センターと附属図書館を統合した組織、総合情報基盤センターを発足しました。全学の学術情報を対象とする、ハードウェアシステム・ソフトウェアシステム・コンテンツ（データ群）を一体化して、設計・導入・運営管理する機関として活動していきます。今後もいろんな形で新たな電子図書館機能を情報発信していきます。これまでに変わらない情報交流の場としての利用をお願い致します。

2010年9月30日

副学長

総合情報基盤センター長

（附属図書館長）

木戸出 正繼